

アーカス湘南ロータリークラブ公式訪問

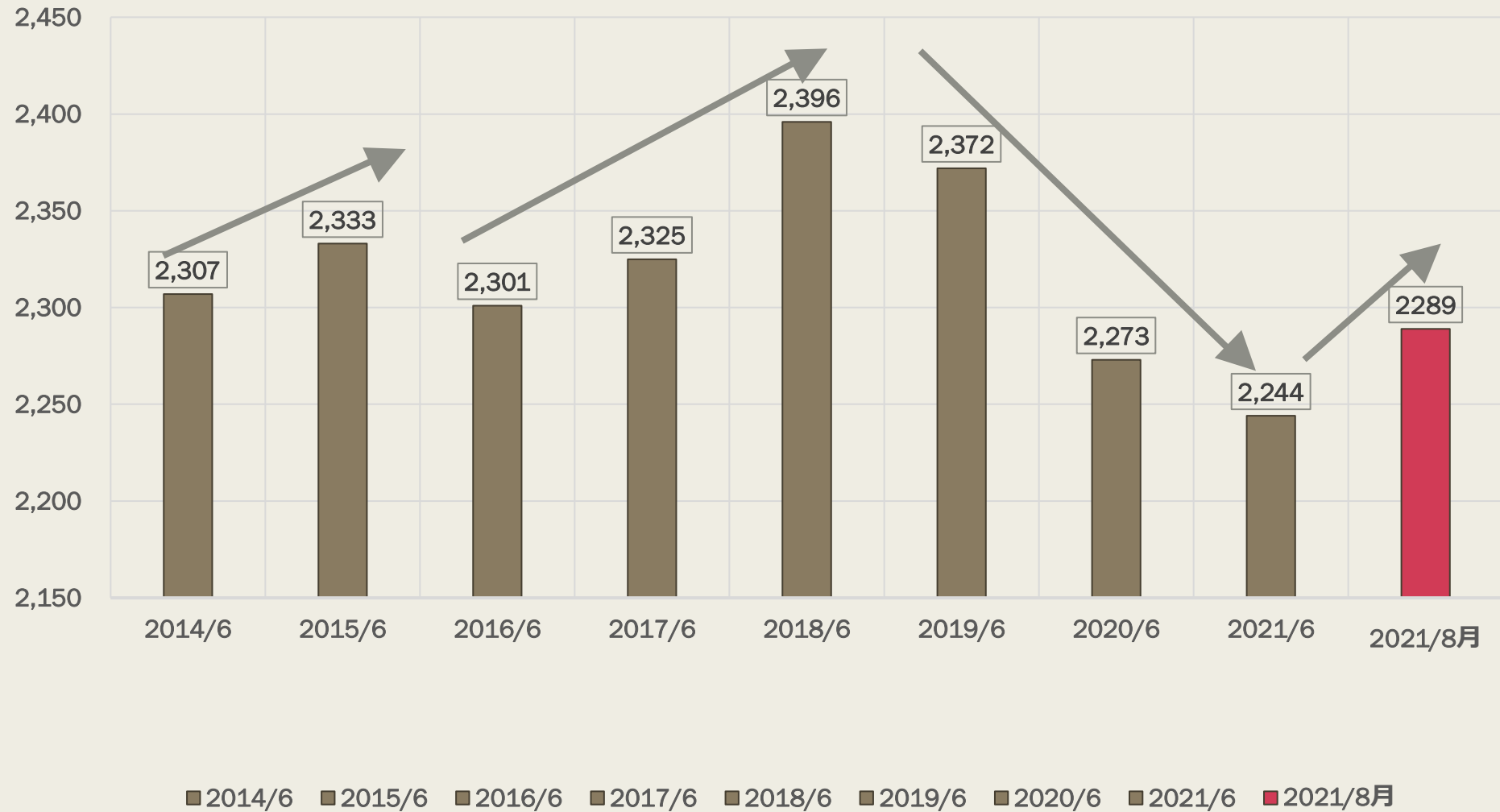
Anyway, let's have fun !

Do More 「END-POLIO」 Grow More 「MEMBERSHIP」
ポリオ根絶と会員増強

地区方針・策定の背景について
(会員増強・ポリオ根絶・ビジョンと行動計画)

2021年10月2日 2021-2022 ガバナー 田島透

会員数の推移（期末集計）

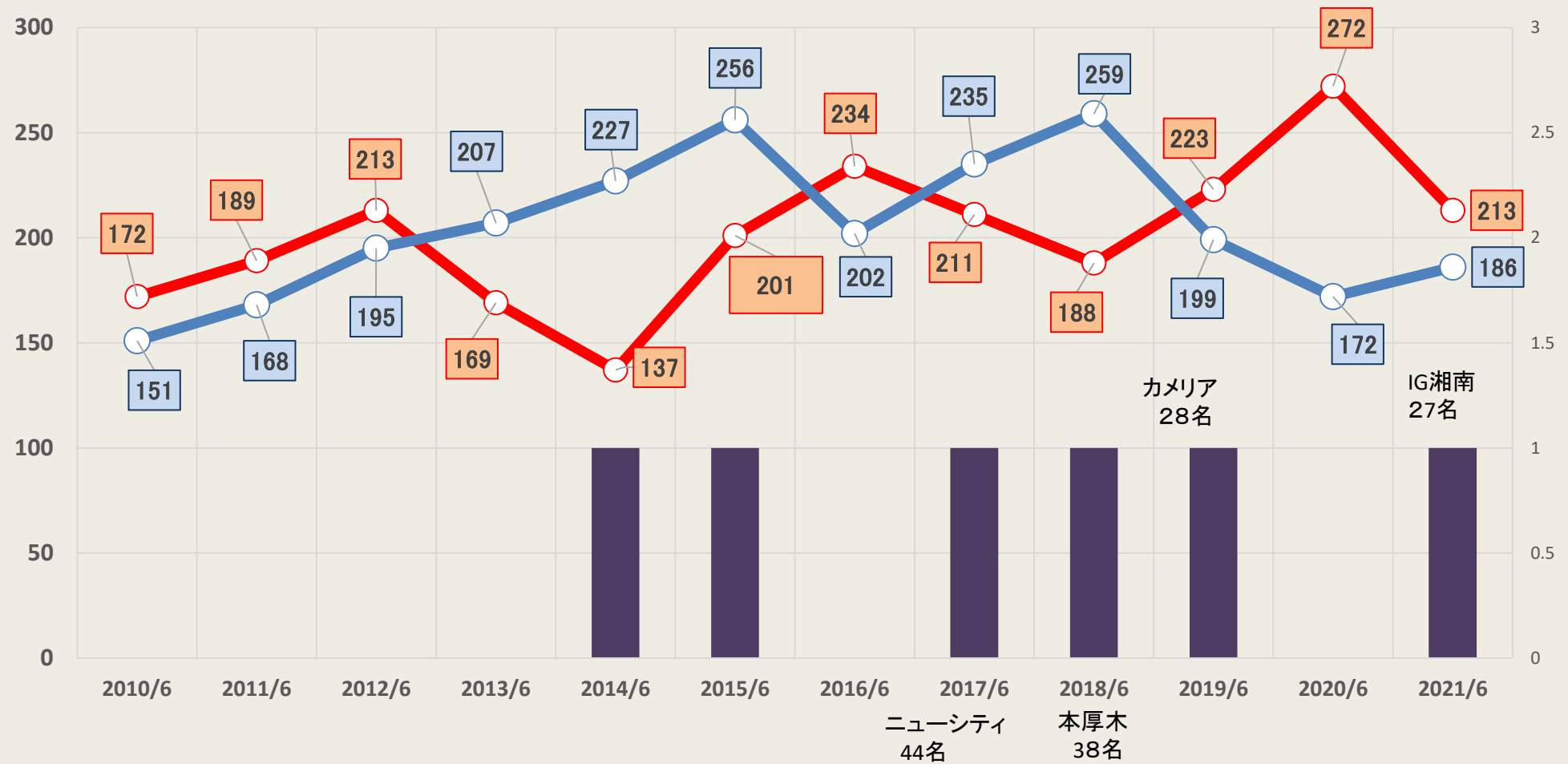


入会者数～退会者数の推移

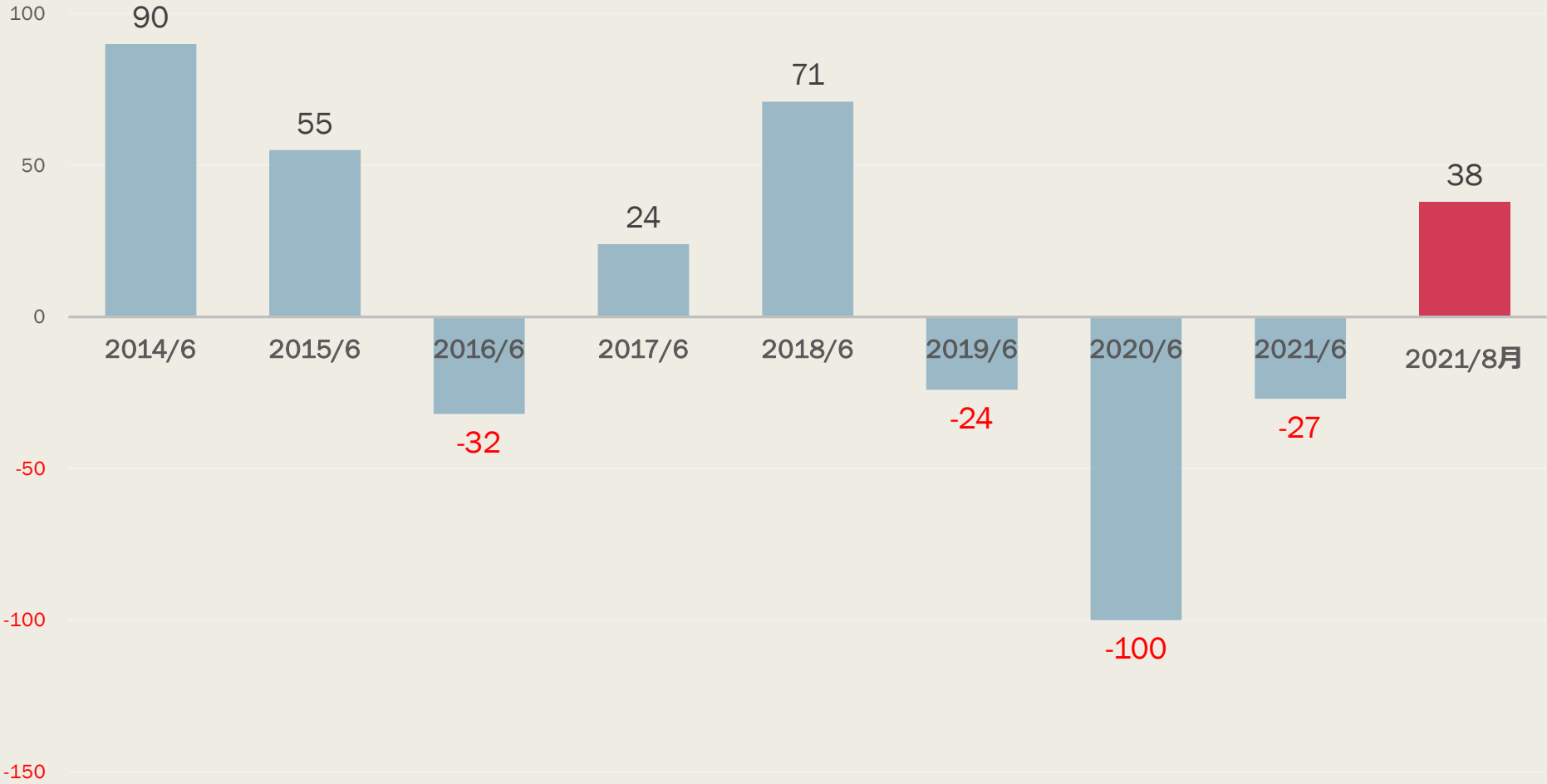
■新クラブ

●退会者数

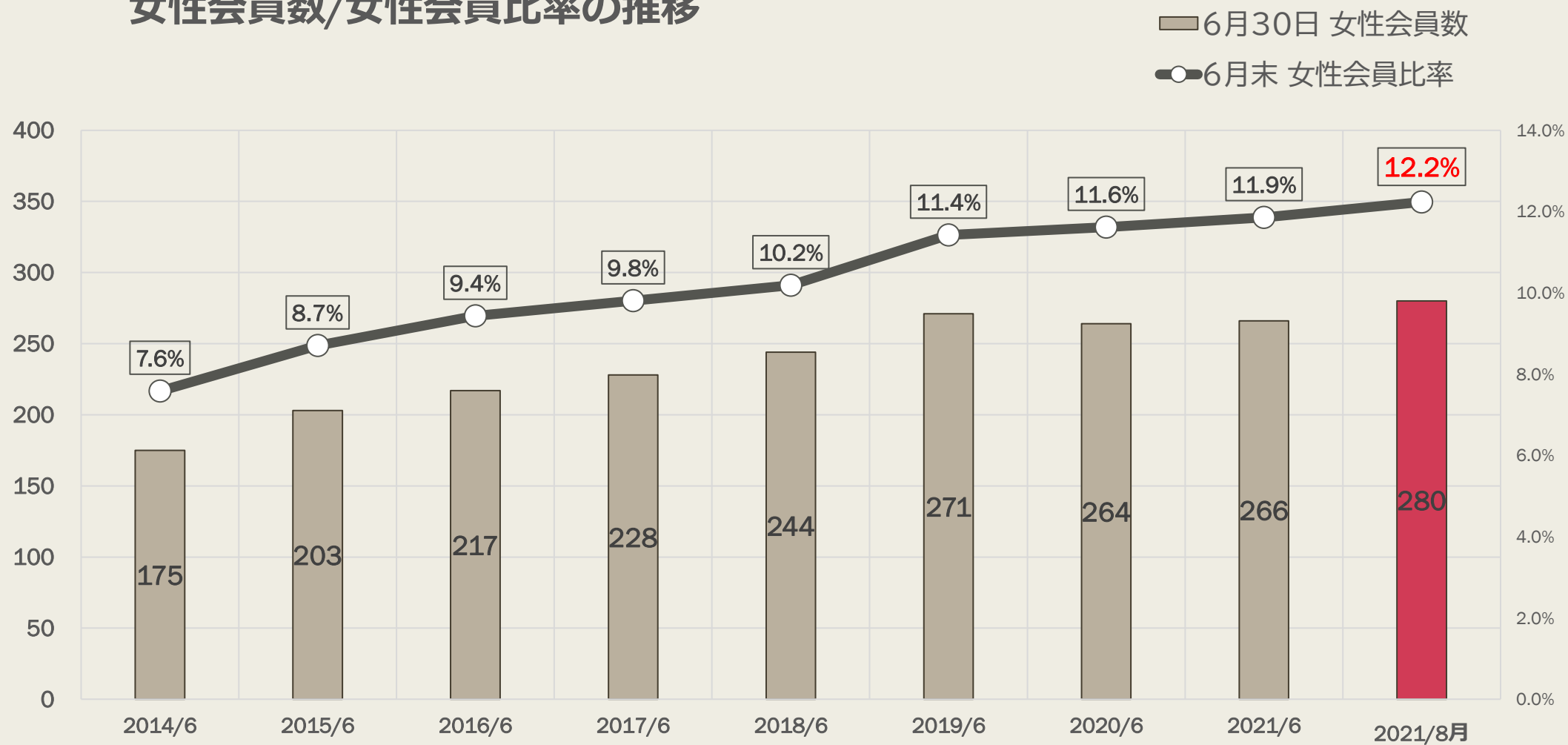
●入会者数



会員数の増減の推移(期末集計)



女性会員数/女性会員比率の推移



ロータリーの認知率は12%

ロータリアン, 1.6%

ある程度知っている, 12.2%

知らない, 41.2%

名前だけ知っている, 45%

参考：第2660地区「ロータリークラブ」認知浸透度調査報告書より

公共イメージ（認知度）が低いのか

- 社会が求める活動を「毎年」行っているにも関わらず、その活動はまだまだ認識されていません
- より好ましいイメージを作っていくには、各クラブの素晴らしいプロジェクトや各クラブの魅力を、より広く伝えていくこと、より多くの人を巻き込む工夫が必要
- 各クラブが奉仕プロジェクトを考える際に、同時に公共イメージ向上の観点からそのプロジェクトがより多くの人に認知され、共感されるような仕組みを考えていくことが重要と思います。

今年の地区の特徴

地区とクラブの連携・情報共有へ

ガバナー補佐のリーダーシップ発揮(ロータリー奉仕デー・世界ポリオデーなど)

地区委員会の再編成・**横断的連携**

クラブ支援強化

クラブ管理運営委員会(3委員会へ)

青少年支援

米山委員会(3委員会へ)

指定校との連携

学友ネットワークの構築

IA/RA支援(委員会分離)

ポリオプラス委員会(新設)

委員会の横断的連携

専門性のある委員会を相互連携により地区ビジョンの実現を目指します。

会員増強－公共イメージ－奉仕事業－財団－ポリオプラス

奉仕事業－青少年－米山委員会

統括＝クラブ管理

出向者の増加

若い会員を委嘱

女性の活躍

ガバナー補佐10名中4名が女性

委員等。副委員長に11名(重複含む)

■ 2015RI理事会は以下のことに同意

ロータリーは時代に
追いついていかな
ければならない

ロータリーは時代に
適応しなければな
らない

ロータリーは将来へ
の備えができてい
なければならない

変化していけない
もの

変化してもよいも
の

変化しなければい
けないもの

クラブの現状から、地域社会に即したビジョン
と行動計画をたてましょう

2021-2022年度 地区活動方針

「ポリオ根絶と会員増強」

「地区ビジョンの実現」

私たちは、地域社会の変化とニーズととらえ、地域社会にインパクトをもたらし、多様な人々との出会いとつながりを活かして、良い奉仕を実践するために行動します

「行動計画(優先事項)から実践へ」

地区優先事項

地域社会のニーズと変化を捉える

地域社会にインパクトをもたらす

多様な人々とのつながり

積極的に行動します

地区の優先事項から実践へ

優先項目 1 地域社会の変化とニーズを捉える

変化に適応できる組織への対応

1. 地区ビジョンと行動計画の理解と推進
2. クラブ・フューチャービジョン会議の開催
3. クラブ・デジタル化の推進

優先項目 2 IMPACT

地域にインパクトを与える

1. 世界ポリオデー（10月24日）
2. 会員基盤強化
9月25日～10月24日
イメージ向上・会員増強月間

優先項目 3 Encounter

様々な人々との出会いと繋がり

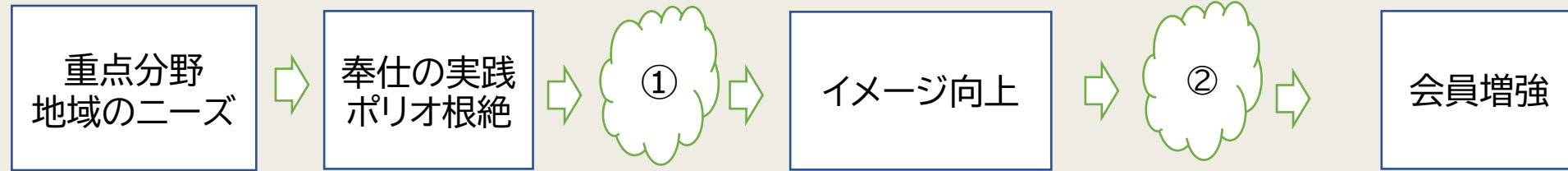
1. 地域で活動するより多くの人たちとのネットワークを築く
2. 青少年への支援（インターアクト・ローターアクト・米山奨学生など）

優先項目 4 Action

行動します

1. ローター奉仕デー
2. 1クラブ1奉仕事業の継続

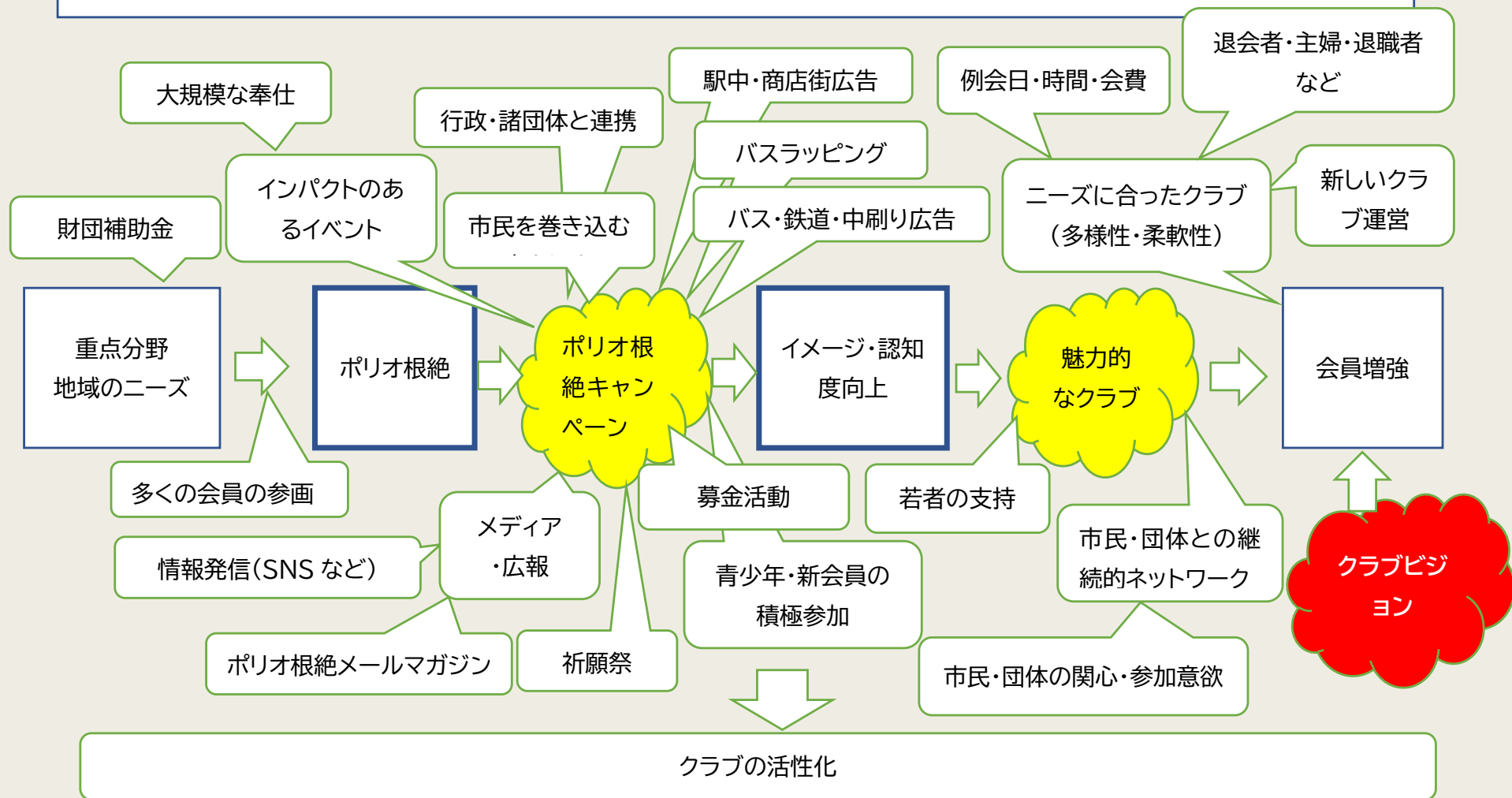
行動計画(公共イメージと会員増強)の実践



戦略計画(行動計画)

- 奉仕の実践をイメージ向上へどのように繋げるか
- イメージ向上から会員増強へどのように繋げるか
- イメージ向上には、各クラブの素晴らしいプロジェクトや各クラブの魅力を、より広く伝えていくこと、より多くの人を巻き込む工夫が重要。
- 公共イメージ向上の観点からそのプロジェクトがより多くの人に認知され、共感されるような仕組みを考えていくことが重要

(財団・公共イメージ・会員増強の関連フロー)
ポリオ根絶と会員増強のストーリー(7月31日ワークショップセミナー資料より)



行動を主体とした奉仕事業

クラブによる地域社会
への奉仕活動



1 クラブ 1 奉仕プロジェクト

グループでの地域社会
への奉仕活動



ロータリー奉仕デーの開催

地区全域で全クラブが連
携し広範囲・大規模な奉
仕活動



世界ポリオデーIN2780
の開催

1 クラブ 1 奉仕プロジェクト（新型コロナ対策）

社会が直面している課題（パンデミック・環境保全など）への取り組みに焦点を当てることは、社会やメディアの関心も高いために、ロータリークラブの認知度や公共イメージ向上を図りやすいと考えます。

新型コロナウイルス感染症の流行により地元経済に深刻な影響をもたらしています。クラブの基盤は地域社会です。地域にはコロナ禍で疲弊した飲食や観光産業などそれを支える流通・サービス業、また極度の緊張状態にある医療・介護などのエッセンシャルワーカーなどの存在があります。この方々に我々ロータリアンは地域の一員として、「1クラブ1奉仕プロジェクト」でこれら産業や職種に元気を提供できる奉仕活動の実現を模索していこうではありませんか。

より多くの人々にロータリー活動の理解を⇒会員増強へ

点的・静的イメージ戦略

- 従来は65クラブが個別に・対象者を地域に限定して短期間に行なう。

面的・動的イメージ戦略

- 65クラブが統一したテーマで連携・行動し広範囲・大規模（多くの人々を巻き込んで）で持続的に活動を発信。
- 各クラブのプロジェクトを、より広く伝え、より多くの人を巻き込むこと、かつ持続的にイメージ向上を図っていく。

世界ポリオデーIN2780の概要

① バスジャックプロジェクト

バス車体広告（ラッピングバス）とバス車内広告でポリオ根絶バスジャックキャンペーンをします。

② ポリオ根絶・コロナ終息祈願法要

ポリオの根絶や新型コロナウイルス感染症の終息を祈願すると共に、これらの病と向き合う医療従事者に感謝の祈りを捧げます。

③ ポリオ根絶募金キャンペーン

④ 世界ポリオ根絶サミット

基調講演

インドとのオンライン会議

ラッピングバス出発式（9月12日）



ラッピングバス 後部



ラッピング側面 後部



車内広告



車内広告（第6グループ）



ロータリークラブは
ポリオ根絶とコロナ終焉を願っています



Rotary International District 2780
国際ロータリー第2780地区

車内広告（第8グループ）

ポリオを根絶する5つの理由

- 1 人びとの生活を改善**
根絶活動のおかげで、1,600万人の人が身体まひにかかるともなく、自らの足で歩いています。
- 2 未来への投資**
今後10年間で毎年20万人の子どもの身体まひとなる可能性が迫ります。ポリオ根絶を達成することは、世界中の子どもに、より安全な世界を贈ることなのです。
- 3 子どもの健康を改善**
ポリオ根絶のサーベイランスや予防接種活動では、ビタミンAやほかといったほかの保健活動の機会も行われるため、早めに対応することができます。
- 4 資金の節約**
ポリオのない世界を実現することで、今後20年間で、450～500億ドルの資金が節約でき、世界経済にも良い影響をもたらします。
- 5 歴史をつくる**
ポリオが世界から根絶されれば、天然痘に続いて2番目に根絶された疾病となり、公共保健の歴史上、最も偉大な功績の一つとなります。

子どもたちにポリオのない世界を

1980年代末の時点で、毎年35万人の子どもがポリオウイルスによる身体まひの犠牲になっていました。

ロータリーとパートナー団体は今日までに

ポリオの症例を**99.9%減少**させることに成功し、天然痘に次いで史上2番目となる疾病の根絶まであと少しのところまでできています。

子どもたちが、ポリオを恐れず暮らせるような世界を実現するまたとないチャンスです。

歴史をつくる カウントダウン

©Rotary International

今こそ、ポリオ根絶に向け 皆さまの力を貸してください。

エンド ポリオ ナウ

検索



Rotary
国際ロータリー第2780地区



END
POLIO
NOW

アーカス湘南ロータリークラブ直近の姿（2020－21）

会員数（2019/6～2021/6） 4名→3名（平均年齢；45歳）

会員増強目標 2人（男性1人・女性1人）

過去3年間入会者数 0名

現在在籍者 0名

過去3年間退会者数 7名

財団寄付実績（）は目標額

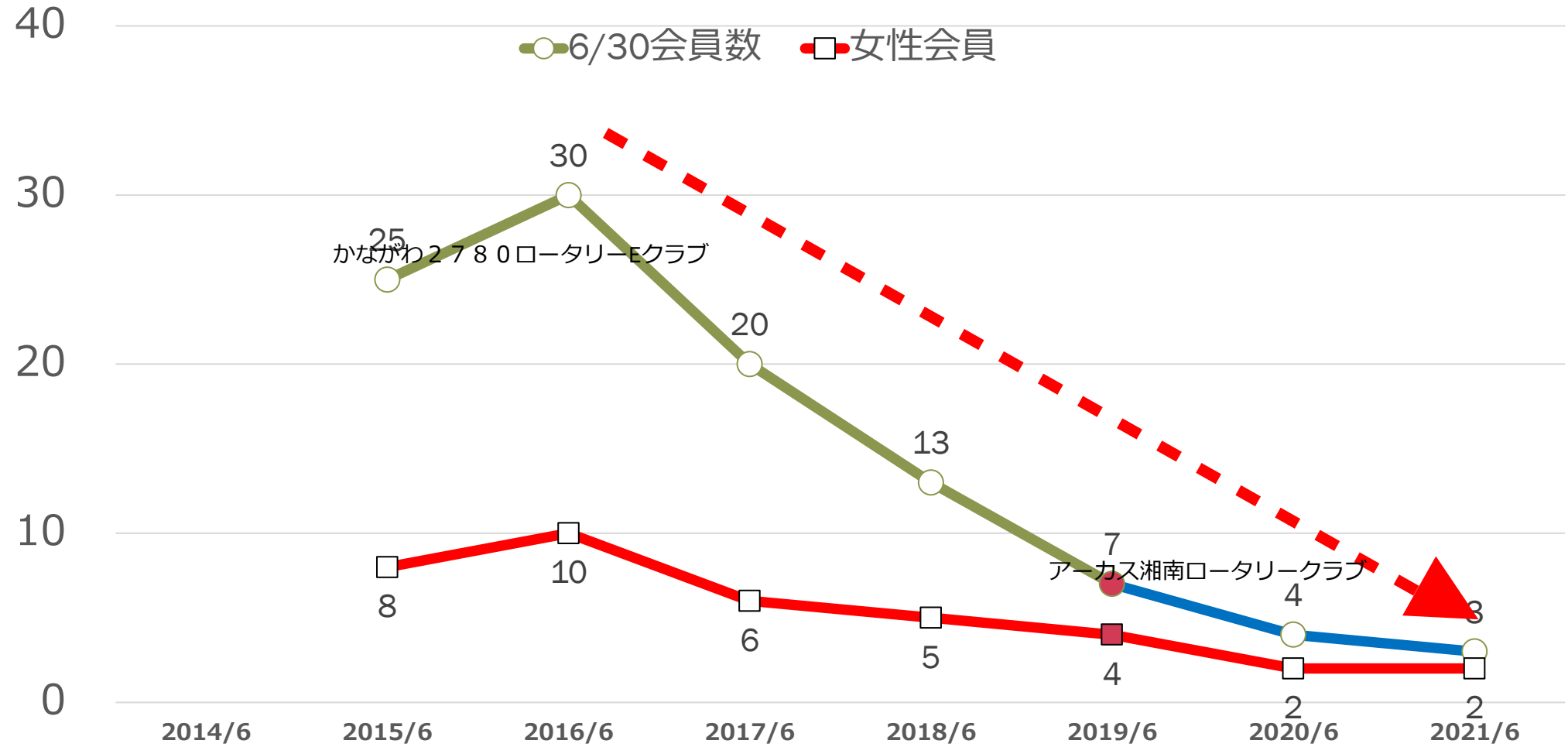
年次寄付 \$ 262 /人（\$200）

恒久基金 \$ 0 （\$1,000）

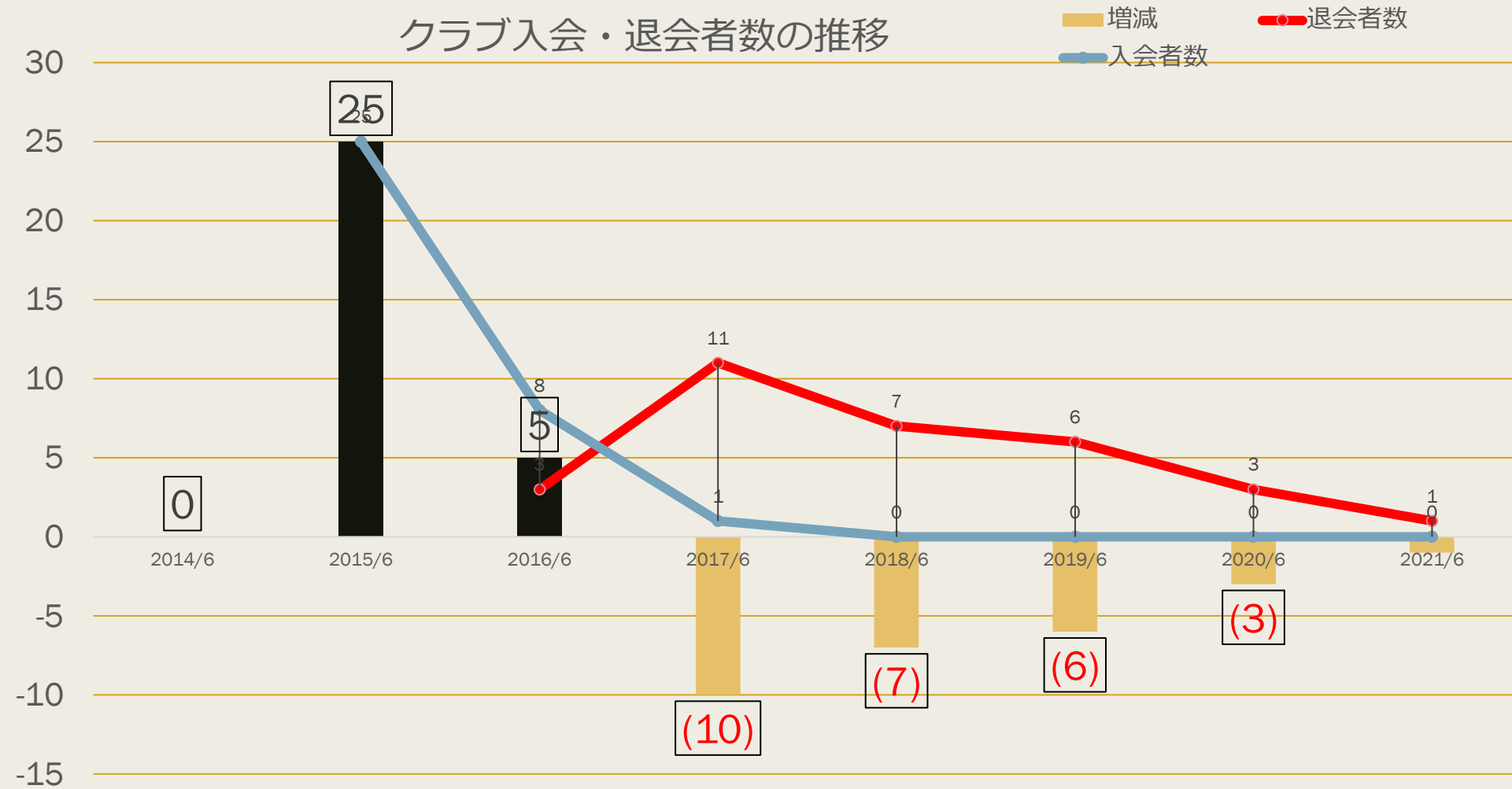
ポリオ寄付 \$ 160 /1人（\$40）

米山奨学会寄付 ￥32,500円/人（￥20,000）

会員数の推移（期末・月信データー）



クラブ入会・退会者数の推移



■ MOVER' S (RI会長メッセージ)

時代は変革期を過ぎ、既に新しい時代へ突入しております。

ロータリーも新しい変化に対応していかなければなりません。

時代の先を進まなければなりません。

次の世代に夢を繋いでいくのは

“Mover 'S(変革者)”である私達なのです！

～最後にもう一度シェカールメータ会長の 言葉を確認します～

- 船は港に居れば安全です。
- 船の目的は港に居る事ではありません。大海に出てこそ船の目的が成就されるのです。
- 変革者である我々は冒険でありメンテナンスではありません。
- 私達は奉仕し、みんなの人生を豊かにするためのパワーと魔法を持っています

END
POLIO
NOW

行動しよう 世界ポリオデー

#endpolio | endpolio.org



活動やイベントを開催する

- 世界ポリオデーにあわせ、クラブ会員、友人、家族と一緒に、地元でのイベントを開催する：メディアや地方自治体の関係者、地元のリーダーを招き、世界ポリオデーの機会にロータリーの活動を紹介します。**イベントのアイデアは次ページをご参照ください。**
- ロータリーのポリオプラス基金への**募金**を目的としたファンドレイジングを行う：ポリオプラスへのすべての寄付は、ビル&メリンダ・ゲイツ財団からの2倍額の上乗せの対象となります。
- イベント情報を寄せる**：世界ポリオデーにちなんで実施するイベントや活動の概要をお寄せください。

書く

- 世界ポリオデーについて、またクラブによるポリオ根絶活動について紹介する文を書き、地元の新聞やメディアに送る：世界ポリオデーにちなんだイベントについて、地元の刊行物やニュースレターに情報を提供しましょう。
- 地元メディアの投稿や社説担当の記者に、ポリオ根絶の重要性について執筆した記事を送る。
- ポリオ根絶活動への支援をお願いする書簡を地元議員に送る。

シェアする

- 世界ポリオデーツールキット**にある投稿例を活用して、ソーシャルメディアで情報を発信する。
- ハッシュタグ「#EndPolio」や「#世界ポリオデー」を利用して、ソーシャルメディアをフォローしたり、投稿したりする。
- フェイスブック**や**ツイッター**で @EndPolioNow をフォローしたり、endpolio.org の **世界ポリオデー** のページから最新情報入手する。
- ロータリーの **ブランドリソースセンター** から、クラブによるポリオ根絶イベントを広報する「世界を変える行動人」のソーシャルメディア用投稿を作成する。ブランドリソースセンターにログイン後、「広告」から「ウェブ広告」をクリックし、左側にある「ポリオ撲滅」を選択してください。

見る

- 10月24日に行われる国際ロータリーのオンライン配信プログラムを視聴する予定を立て、ソーシャルメディアでも情報を発信する。
- フェイスブック** から、オンライン配信プログラムへの参加予定を設定する。
- 10月15日までに **世界ポリオデーにちなんだイベントの情報をフォームに入力**し、ダウンロード可能なオンライン配信プログラムへの早期アクセス権を入手する。

END
POLIO
NOW

行動しよう 世界ポリオデー

#endpolio | endpolio.org



イベントのアイデア

- 直接集まって行うイベントが困難な場合は、個人で参加できるウォーキングや自転車のチャレンジなどを計画する。友人や同僚にお願いし、ウォーキングの距離や自転車の走行距離に応じて、ロータリーのポリオプラス基金への**寄付**をしてもらうのも一案です。
- 10月24日に、クラブ会員や友人を招いて、国際ロータリーのオンライン配信プログラムのビューイングパーティを主催したり、ロータリーによるポリオ根絶活動を紹介した**ビデオ**を上映する。
- クラブ例会で世界ポリオデーを大きく取り上げる。ポリオサバイバー、または現在もポリオの影響を受けている国のクラブ会員を卓話者として招くこともできます。また、ポリオに関する公共認識を高めることを目的としたディスカッションを行うこともできるでしょう。このような特別例会の情報をクラブウェブサイトやソーシャルメディアに掲載しましょう。
- ロータリーの**ブランドリソースセンター**から、End Polio Nowのバーチャル背景画像をダウンロードする。ブランドリソースセンターにログイン後、「資料のテンプレート」から「クラブの資料」へとお進みください。

世界ポリオデーにちなんだ活動を紹介することもお忘れなく。**イベントの情報をフォームに入力**し、実施するイベントや活動の概要をお知らせください。



ロータリー 奉仕デー



朋友の皆さま

私たちは、「超我の奉仕」を活動の土台として、ロータリアンとローターアクトーに参加型ボランティアの体験を提供しながら、将来に会員となれる人たちをロータリーへと導くことのできるユニークな立場にあります。

私は、2021-22年度に少なくとも1回、実践的かつ行動志向のロータリー奉仕デーのイベントを計画・開催していただくよう、すべてのクラブにお願いしたいと思います。このイベントは、ロータリー重点分野の一つ以上に該当する地域社会の課題に、ロータリー内外のボランティアが一緒に取り組めるものとする必要があります。



このイベントは、職業やロータリーとの関係にかかわらず、地域の家族や協力団体とともに有意義な奉仕に取り組む機会となります。皆さんの意義ある活動を、地域社会の人びとに広く知ってもらいましょう。

皆さまと一丸となって、世界でより多くのよいことができることを願っております。

Shekhar Mehta

2021-22年度
国際ロータリー会長
シェカール・メータ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにする为目标

意欲を刺激する

- ・ ロータークラブ、ローターアクトクラブ、インターアクトクラブの意欲を引きだし、革新的かつ実践的な奉仕プロジェクトを計画する
- ・ 行動人としてのロータリー会員の姿をアピールする
- ・ 参加型のロータリー奉仕デーを通じて、入会候補者をクラブに紹介する



アイデアを集める

- ・ ロータリーショーケースで、ほかのクラブが実施したプロジェクトを参照する
- ・ 国連が定めている国際デーとロータリーの特別月間を確認し、それに応じたロータリー奉仕デーを計画する
- ・ 奉仕の機会を知るために、地元や近隣地域のリーダーと協力して調査を行い、最も大きな課題と対応方法を検討する

イベントを計画する

「2021-22年度ロータリー奉仕デー」のイベントとして認められるには、次を満たす必要があります。

- ・ 二つ以上のロータリークラブ、ローターアクトクラブ、インターアクトクラブによって計画されたものである（協力するクラブが同じ国か海外であるかは不問）
- ・ ロータリー重点分野（一つまたは複数）に一致している
- ・ イベントへの関心を高めるため、少なくとも一つのメディア（フェイスブック、ツイッター、地元紙など）で周知を行う
- ・ 参加者の少なくとも25%は、現ロータリー会員ではない

また、イベントは、以下の追加のガイドラインのうち、少なくとも三つを満たす必要があります。

- ・ 国連が定める国際デー、またはロータリーの特別月間に合わせて、関連トピックに沿ったものとする
- ・ 事前に計画した奉仕活動を通じて、女子のエンパワメントに優先的に取り組む
- ・ 計画と実施の段階で、ロータリー地域社会共同隊と協力する
- ・ 少なくとも一つの地元企業、地域団体、政府または自治体と協力する
- ・ イベントの主催クラブが地域社会のエンパワメントをどのように継続しているかについて、地域社会でのディスカッションを行う
- ・ 家族やあらゆる年齢・能力の参加者が参加できる奉仕の機会を提供する
- ・ 「世界を変える行動人」のリソースを使用し、#RotaryDaysと#PeopleofActionのハッシュタグを付けて、イベントの写真と成果をソーシャルメディアで紹介する
- ・ イベント終了後、クラブ会員ではない参加者へのフォローアップを行い、今後のプロジェクトやクラブ例会に招いて地域社会でのクラブの活動を知ってもらう

成果を祝う

- ・ ソーシャルメディアでイベントを紹介するだけでなく、当日の写真や動画とともに、完了した活動をロータリーショーケースに投稿する
- ・ 完了したプロジェクトをロータリーショーケースに投稿した後に受け取る証書を用いて、イベントや奉仕の成果を記念に残す

この行動計画は、ロータリーが直面している課題や困難な状況と純粹に向き合うもので、行動の枠組みになると同時に、クラブ、地区のニーズをめざすべき目標と連結させる働きをします。

この変化は決して簡単なことではありません。

包括性と開放性をもって新会員や新しいアイデアと向き合っていくことが大切です

地区・RIの優先事項を実現できるようクラブを支援します。

ロータリーの変化を実感する

2,016年規定審議会 柔軟性（FLEXIBILITY）の採用

- 「例会と出席」「会員身分」の2つのカテゴリーについて、標準ロータリークラブ定款の条項に従わない規定又は要件をクラブ細則に含めることができる

2,019年規定審議会 柔軟性の確認

- 例会の開催数や出席について柔軟性を否定し元に戻すことを求める制定案はことごとく否決され、かえって欠席のメイクアップ期間を「同じ年度」と拡大する制度案が採択された